

報告

平成19年度情報科学部謝恩会実施報告

～情報科学部謝恩会実行委員になって～

平成19年度 卒業生 新井 貴子・山本 愛

1. 会場決め ～福岡サンパレスホテル～

早い時期から会場選びを始めましたが、初めてのことでありなかなか大変な作業でした。まずは、予算、人数、会場の雰囲気等を試行錯誤して、いくつかの候補を見つけ出しました。その後、これらの候補の中から、希望通りの会場を先生の助言により見つけることができ、最終的には福岡サンパレスホテルに決定しました。

2. 開催日時

謝恩会の日時は、学位授与式の日（平成20年3月24日）の18時開始としました。

3. 事前準備

謝恩会開催までに以下のような準備作業を行いました。

- ① 先生方への招待状作り
- ② 参加者名簿作り
- ③ 同日の流れのプログラム作り
(時間配分、印刷等)
- ④ バスの手配
- ⑤ 会場との打ち合わせ
(下見、料理、机の位置等)
- ⑥ ビンゴの景品の買出し
- ⑦ 花の手配
(先生方の胸に付けるブローチ、花束)
- ⑧ 会費回収

4. 参加人数

今回の謝恩会には以下の方々に参加していただきました。

- 先生 約20人
- 学生 約40人
- 後輩 4人

5. 当日の流れ

謝恩会当日は、以下の流れで会を進行しました。

- ① 開会の挨拶
- ② 総代の挨拶
- ③ 学部長の挨拶
- ④ 学部長による乾杯の音頭
- ⑤ 立食
- ⑥ ビンゴ大会
- ⑦ 花束贈呈
- ⑧ 集合写真撮影
- ⑨ 閉会の挨拶



写真1. 総代の挨拶



写真2. 総代から学部長への花束贈呈

6. 謝恩会実行委員を行って感じた事

- 一からの謝恩会準備と卒業研究と同時進行の難しさ

情報科学部での謝恩会は前例が無かった為、まず何を行うかも判らず、初めは闇雲に思いつくままに案を出し、インターネットで検索をする日が何日も続きました。また、何度も手戻りが発生し、卒業研究との同時進行だった為、実際に具体的な実行に移すのに時間が掛かりました。

- 謝恩会の周知／参加募集の苦労

謝恩会を開催することをメールでの告知や研究室毎にビラを配るなどしましたが、今までに前例が無いいためか、学生は半信半疑で参加・不参加の意思をはっきり示さず、ギリギリまで参加人数がはっきりせず、人数が思うように集まりませんでした。しかし、実行委員メンバーと後輩が声を掛け、多くの学生を集めることができました。

- 謝恩会進行のハプニング

プログラムの流れや時間配分を考える際、謝恩会実行委員の経験がある安武先生に相談して決定し、福岡サンパレスホテルの方ときちんと打ち合わせを行ったのですが、当日に行うことや他の実行委員のメンバーへの指示などで忙しくなってしまう大変でした。

また、ビンゴゲームでは想定より 30 分ほど早く終わるといふハプニングが起きました。しかし、時間的に無理があると思われた集合写真を撮ることにしました。急遽決まったことでしたが、福岡サンパレスホテルのスタッフの迅速な対応で無事集合写真を撮ることができました。

7. 最後に

私達は大学生生活最後に謝恩会実行委員を行えた事はとてもいい経験になったと思います。思うように進まなかったことや卒業研究との両立で、途中投げ出しそうになったことも多々ありました。しかし、多くの方々に助けられました。

多くのアドバイスをくださった稲永先生。当日の司会進行、ビンゴゲームでの盛り上げ、バス乗降の誘導をしてくれた後輩の青木さん、上野君、小野さん、城戸さん。恩会実行委員のメンバーである大山さん、小池さん、篠崎君、西岡君、橋本さん、古野さん。皆がいて、協力してくれたお陰で謝恩会を無事終えることができた、心より感謝をしています。



平成 20 年 3 月 24 日
九州産業大学 情報科学部
謝恩会

